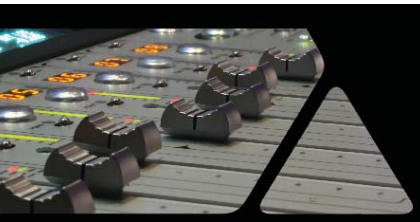
# 24 GPI / GPO Control



Pyramix
DIGITAL AUDIO WORKSTATION

# GPIOコントロール

## GPI / GPOのサポート

GPI/Oは、リモートコントローラー・モジュールとして利用することができます。

**Note:** Pyramixがサポートしているの GPI/Oインターフェースは Sealevel社製の下記のモデルです。

- **SeaPORT PLC-16 8 in 8 out**
- **Seal/O-410U 16 in 16 out**
- **Seal/O-420U* 16 in 8 out**
- **Seal/O-430U* 32 in 0 out**
- **Seal/O-440U* 0 in 32 out**
- **Seal/O-450U* 0 in 16 out**
- **SeaDAC DIO-32 (P/N 8221)**
- **SeaDAC PLC-24 (P/N 8222)**

* 特注にて入手可能なモデルです。

**Note:** USBドライバーは、Pyramixのインストーラーに含まれているので、ドライバーをダウンロードする必要はありません。GPIOハードウェアのスペックに関する詳細は、別途 http://www.sealevel.com を参照してください。

### GPI/Oコントローラーの使用

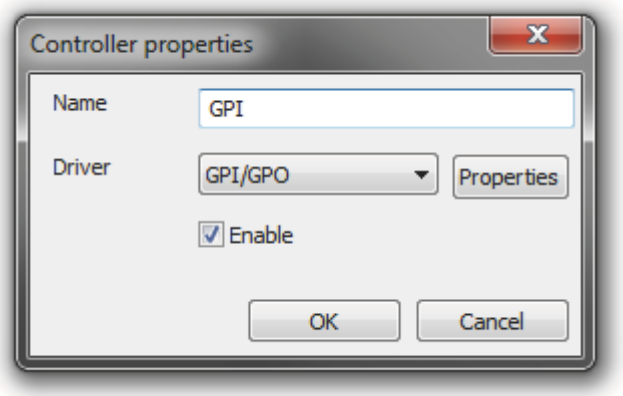
#### GPI/Oコントローラーの追加

GPI/Oコントローラーの使用を開始するにあたって、以下のセットアップを行います。

**Settings > All Settings > Remote Control > Controller**ページを開きます。

**Add**ボタンをクリックすると、下図の**Controller Properties**ダイアログが開きます。コントローラーに付ける名前を入力して、**Driver**のドロップダウンリストから**GPI/GPO**を選択します。**OK**をクリックして、**Controller Properties** ダイアログを閉じます。**OK**をクリックして、Pyramix Settings画面を閉じます。

**Note:** Pyramixが使用できるGPIOコントローラーは1台のみなので、上記のセットアップを行うのは1回のみです。GPI/GPOのUSBモジュールについては、1台以上のモジュールをコントロールできます。



### Enable/Disable

GPI/GPOコントローラーを無効にする場合、Controller Propertiesダイアログ内のEnableボックスのチェックを外します。GPI/GPO USBモジュールについては、DriverのPropertiesボタンをクリックしてダイアログを開き、個別にEnable/Disableを設定することができます。

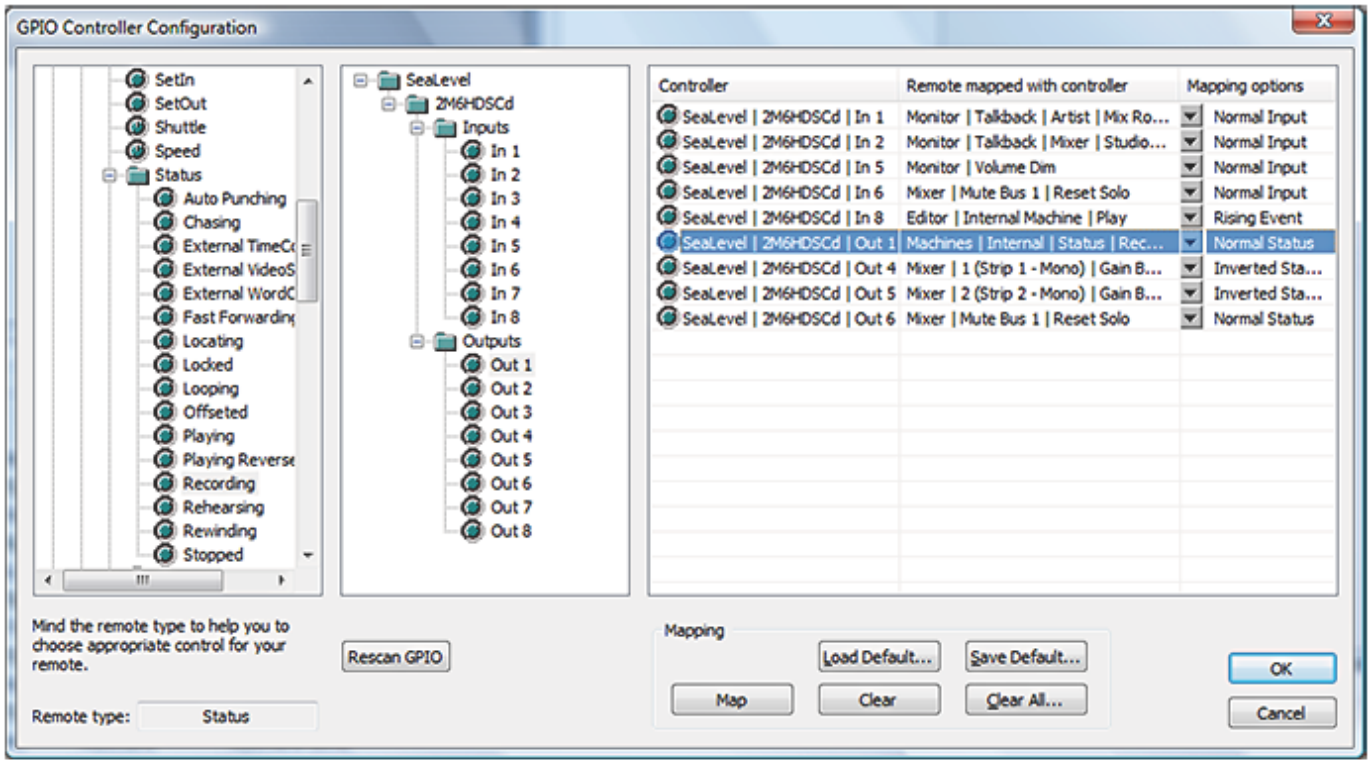
### 特定のプロジェクトのためにGPI/Oコントローラーを構成する場合：

Settings > All Settings > Project > Controller Mappingページを開きます。

使用するGPI/Oコントローラーを選択してPropertiesをクリックすると、下図のGPI/O Controller Configuration画面が表示されます。画面の左側にはRemotesリストがツリー表示されます。中央のツリー表示はGPI/Oコントローラーのリストがツリー表示されます。GPI/Oコントローラーの入力または出力ピンにリモートをマップするには、任意のリモートをドラッグしてコントローラーへドラッグします。画面の右側にはコントローラーのピンにマップされたリモートの内容がリスト表示されます。Mapping Optionsオプションのコラムをクリックすると、ピンにマッピングしたリモートの動作を構成できます。

OKをクリックすると、変更したGPI/Oコンフィグレーションを適用します。Cancelをクリックすると、変更を適用せずに終了します。

### マッピング例：




GPIO Controller Configuration dialog

### 上図のマッピング例におけるマッピングの詳細

**Input triggering:**

**In 1 : Monitor | Talkback | Artist | Mix Room | On**
アーティスト側からMixルームのトークバック回路を開きます

**In 2 : Monitor | Talkback | Mixer | Studio | On**
ミキサー側からスタジオのトークバック回路を開きます

**In 5 : Monitor | Volume Dim**
モニターの出力をDimします

**In 6 : Mixer | Mute Bus 1 | Reset Solo**
ミキサーのソロをリセットします

**In 8 : Machines | Internal Machine | Play**
Pyramixを再生します

**Output are triggered by:**
**Out 1 : Machines | Internal | Status | Recording**
トランスポートのRecordをコントロールします

**Out 4 : Mixer | 1 (Strip 1 - Mono) | Gain Bus 1 | Gain**
ミキサーの1番目のフェーダーをスタートします（dB値に関してスレッショルドは-90dBです）

**Out 5 : Mixer | 2 (Strip 2 - Mono) | Gain Bus 1 | Gain**
ミキサーの2番目のフェーダーをスタートします（dB値に関してスレッショルドは-90dBです）

**Out 6 : Mixer | Mute Bus 1 | Reset Solo**
ミキサーのストリップにSoloが入っている場合にRest Soloをコントロールします

## GPI/Oリモートの種類

GPI/Oの入力ピンおよび出力ピンには、以下の5種類のリモートを使用することができます。

- **Toggle** 入出力ピンに使用できます
- **Range** 入出力ピンに使用できます （toggle 0 = off, other = onのように動作します）
- **Event** 入力ピンにのみ使用できます
- **Event-Status** 入出力ピンに使用できます
- **Status** 出力ピンにのみ使用できます

**Note:** 他のリモートをGPI/Oピンにマップすることはできません。

## GPI/O入力＆出力ピンの構成

**ToggleまたはRangeにマップした入力ピンは以下のリモートを構成できます：**

- **Normal Input**
- **Inverted Input**
- **Rising Event**
- **Falling Event**

**EventまたはEvent-Statusにマップした入力ピンは以下のリモートを構成できます：**

- **Rising Event**
- **Falling Event**

**ToggleまたはRangeにマップした出力ピンは以下のリモートを構成できます：**

- **Normal Status**
- **Inverted Status**

**StatusまたはEvent-Statusにマップした出力ピンは以下のリモートを構成できます：**

- **Normal Status**
- **Inverted Status**